



うさ本ファミリー

楽しく子育て!

～子育て支援コーナー通信～

第80号

発行日
2014年1月19日
(毎月19日刊行)



司書のオススメ本

～最新の子育て情報が分かる本～

<企画展示コーナーから選んでみました>

新しい本が
入りました。
()内の数字は
棚の番号です

3歳半くらいからだったでしょうか。「〇〇って何?」「どうして?」「何で?」と子どもから質問せめにあうようになったのは。この年末年始は、年越しそばを見ては「何で、晩におそば食べるん?ご飯は?」、大人の会話を聞いては「かがみもちって何?」など、伝統行事関連の質問もいくつかもらいました。いざ質問されると、とっさに回答するのは難しいものですが(子どもにも分かる言葉で説明しようとする、さらに難しい)、企画展示の準備で伝統行事の本を少し読んでいたので、いつもよりは、きちんと答えられたかな?と思います。

そこで今回は、肩ひじ張らずに読める、伝統行事の本をおススメしたいと思います。(T)

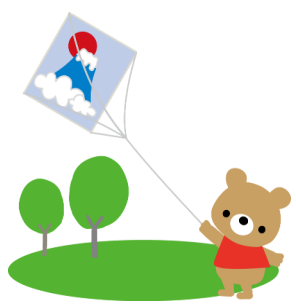
『失敗しない育児の
スゴワザ51』
祖川泰治 / [著]
ワイヤーオレンジ / 刊
2013.12
(支援1-5)

『子どもの体温と
健康の話』
野井真吾 / 編著
芽ばえ社 / 刊
2013.12
(支援2-3)

『「ひとりっ子」の
育て方』
和田秀樹 / 著
学研パブリッシング / 刊
2013.12
(支援3-3)

『子供が変わる!
奇跡の料理教室』
村田歩, 村田ナホ / 著
東邦出版 / 刊
2013.12
(支援4-2)

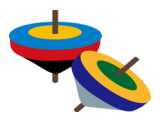
<おススメbook>



『かこさとしこどもの行事しぜんと生活 1月のまき』
かこさとし / 文・絵
小峰書店 / 刊

『家族で楽しむ歳時記・にほんの行事』
近藤珠實 / 監修
池田書店 / 刊

『「和」の行事えほん 2(秋と冬の巻)』
高野紀子 / 作
あすなる書房 / 刊



企画展示
「知れば知るほどおもしろい!～家族で楽しむ伝統行事の本・えほん～」展
子育て支援コーナーにて、平成26年3月2日(日)まで開催中!

絵本で好き嫌いを克服？

乳児の頃の息子は、母乳がうまく吸えないまま生後2ヶ月でミルク嫌い、離乳食を食べ始めるとおかゆ嫌いとおかゆ嫌いと食べ物の好き嫌いが激しい子どもでした。そのせいで、一向に体重が増えず、この先ちゃんと育つのだろうかと不安になる日々が続きました。

2歳頃になっても当然のように白飯、牛乳、野菜、肉…いろいろなものを嫌って食べませんでした。

そんなとき、せめて野菜にだけでも親しみを持ってほしいという願いをこめて読み聞かせたのが、この絵本『おやおや、おやさい』（石津ちひろ／文 山村浩二／絵 福音館書店）です。この本は、かわいらしい野菜たちがたくさん登場し、みんなでマラソン大会をするというストーリーですが、言葉のテンポもとてもよく、息子のお気に入りの一冊になりました。

私は、この絵本が息子のお気に入りになったのを見計らい、食事のときに『「はくさい はくしゅは てれくさい」の白菜だよ～。』と言いながら息子の口に白菜を「ぱくっ！」と入れてみました。「やったあ～、食べた！」と喜んだのもつかの間、息子がすばやく「ぺっ！」と吐き出してしまい、「あ～残念！」。。。

今は4歳半になり昆虫や恐竜の図鑑ばかり読んでいる息子。未だ野菜嫌いは克服していませんが、私が久々に本棚から『おやおや、おやさい』を手にとって読んでみると、飛んで来てじっと見入っていました。今もお気に入りの絵本なことには変わりないようです。そして、私にとってもとても思い出深い大切な一冊です。

思えば、子育てで落ち込んだ気持ちのときにも息子に絵本を読むと、息子の喜ぶ表情がかわいらしく、気持ちを切り替えることができました。子育て中、何度も絵本に助けられたと思います。私にとって絵本は、子育てと切り離せないとても大切なものだとも今も思っています。（D）

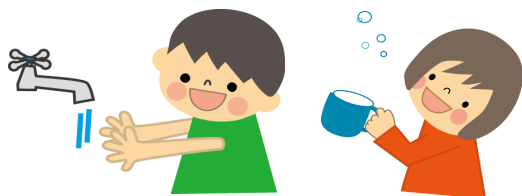


石津ちひろ／文 山村浩二／絵
福音館書店

感染症に注意しましょう。

ノロウイルスが原因とみられる感染性胃腸炎や、インフルエンザが流行しています。お家に帰った後は手洗い・うがいをしましょう。十分な睡眠や食事で、体調を整えることも大切です。

支援コーナー **2-3** の棚の、子どもの健康やホームケアの本も、ぜひご覧ください。



編集後記 もうすぐソチオリンピックですね。冬のオリンピックの種目は、スキージャンプ、カーリング、フィギュアスケートなどいろいろあります。スポーツは得意な私ですが、選手の活躍をテレビの前で応援したいと思います。

今年もよろしくお願いいたします。（Y）